

企画展

山を知る

好評につき
開催期間を延長します。

講演会のお知らせ

“山の高さはどう決まる？”

- ・講師 国土地理院 大滝 修
- ・日時 7月27日(金)
10:00～10:40, 13:10～13:50
- ・会場 オリエンテーションルーム
※席に限りがあります

地図・測量で山を知る

- ・山と三角点
- ・地図に描かれる山のすがた
 - ・基礎からわかる 1/25,000 地形図
 - ・地形図から読む登山用語
 - ・地図に描かれた特徴的な山の地形
 - ・山を描いた国土地理院の地図
- ・山で役立つさまざまな地図
- ・山の災害(火山を知る)

伊能忠敬が仰いだ山々

(伊能忠敬没後 200 年！)

- ・伊能図作成のため忠敬が仰いだ山々

＜開催期間＞ 2018年 7月25日(水)から 11月4日(日)

地図と測量の科学館

入場無料

茨城県つくば市北郷1番 国土地理院構内

URL <http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

交通案内

- ・TXつくば駅から関東鉄道バス5番乗り場(建築研究所・下妻駅行)乗車、約10分、「国土地理院」下車
- ・サイエンスツアーバス……研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス(土日・祝日運行)
- ・無料駐車場あり(大型可)
- ・<http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT-g-kotu.html>

＜開館時間＞ 9時30分から16時30分

＜休館日＞ 毎週月曜日

(ただし、月曜日が休日のときは開館し、
翌日火曜日が休館となります。)



国土交通省国土地理院

URL <http://www.gsi.go.jp/>



開催にあたって

日本の国土の約2／3を占めている山々は、四季折々に豊かな表情を見せ、私たちの暮らしに様々な恵みを与えてくれます。

平成28年には、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」として、「山の日」（8月11日）が制定されました。これを契機に、登山やハイキングをはじめ、山に親しみを持つ人が増えています。

一方、山は、時として大きな災害を引き起こします。火山、雪崩、土石流など、山にまつわる災害は、これまでも多くの人々の命や生活の場を奪い、私たちに自然の力の大きさを見せつけてきました。

日本の国土に生きることは、まさに山とともに生きることです。先人たちは、山を深く知ろうと努力を重ね、美しく、恵み豊かで、そして恐ろしくもある「山」と共存しつつ生きる知恵を磨いてきたのです。

「地図」は、山を知るための最も身近で、頼もしいパートナーです。

みなさんも、登山やハイキングで、「どちらの道を行けば良いのかな」などと地図を確認されたことがあると思います。山と関わろうとするとき、地図は実にたくさんのことを教えてくれます。

また、災害の危険がある場所を知り、災害に備えるためにも、山の地形を詳細に描いた地図が大きな働きをします。

そして、地図は山から作られると言っても過言ではありません。

伊能忠敬は、遠くに見える山を様々な方向から測ることで地図を作りました。その基本的な手法は明治以降も引き継がれ、全国の山に三角点標石を埋設し、近代国家建設の基礎となる国土の測量が進められてきたのです。そして現在では、その三角点を基準として、空中写真などを用いて地図が作製されています。

山と地図は、まるで無二の親友のように強く結ばれているのです。

この企画展では、測量や地図の視点から日本各地の山の姿を紹介します。この企画展が、山の魅力に新たな光を当て、私たちが山をいっそう深く知るきっかけとなれば幸いです。

【主な展示内容】

- 山と三角点
- 地図に描かれた特徴的な山
- 伊能忠敬が仰いだ山々
- 山で役立つ地図
- 火山を知る